

力合わせて施設に壁画

富岡

利用者や学生50人 主題は「よろこび・共生」



壁画制作に取り組む参加者

富岡市後援の知的障
害者更生施設「ムゲン」
(金谷透施設長)の建
物壁面に、施設に通う
障害者と県内の高校
生、大学生らが力を合
わせ「よろこび・共生」
をテーマとした壁画を描
いた。
施設を運営する社会
福祉法人「上州水士舎」
が、コンクリートの殺
風景な壁面に温かみを
もたせようと企画した。

参加したのは県立女
子大、創造学園大、松
井田高校の学生と生
徒、市内のボランティア
アراوح三十人。二月に
実行委を立ち上げ、四
グループに分かれ、原
画づくりなど準備を進
めてきた。

描く作業には施設の
利用者ら約二十人も加
わり、和気あいあいの
雰囲気の中、大きな所
では、縦約四尺、横約
八尺にもなる一階部分
の壁四カ所にゾウやク
ロバー、ネコやニワ
トリなどのカラフルな
絵を描き上げた。

県立女子大三年の中
田優里さん(20)は「テ

ーマに合った個性的な
絵が描けた」と満足そ
うに話していた。

ムゲンは昨年六月に
開設。納豆作りなどの
就業訓練に活用されて
いる。